広島市植物公園
見どころ案内

2021年3月20日
通巻第496号

ミツマタ（ジンチョウゲ科）
現在満開となっており、辺りには香りが漂っています。樹皮は和紙やお札の原材料になります。

展示会のご案内

◇展示資料館（3/6～4/1）
「草木染の世界」展

◇展示温室（3/6～4/18）
ゼラニウム展

オキナグサ（キンポウゲ科）
毛に覆われた赤い花がうつむき気味に咲いています。花後にできる白い綿毛に覆われた果実を翁の白髪に見立ててこの名が付きました。

ハナナ（アブラナ科）
小規模ですが菜の花畑をお楽しみいただけます。

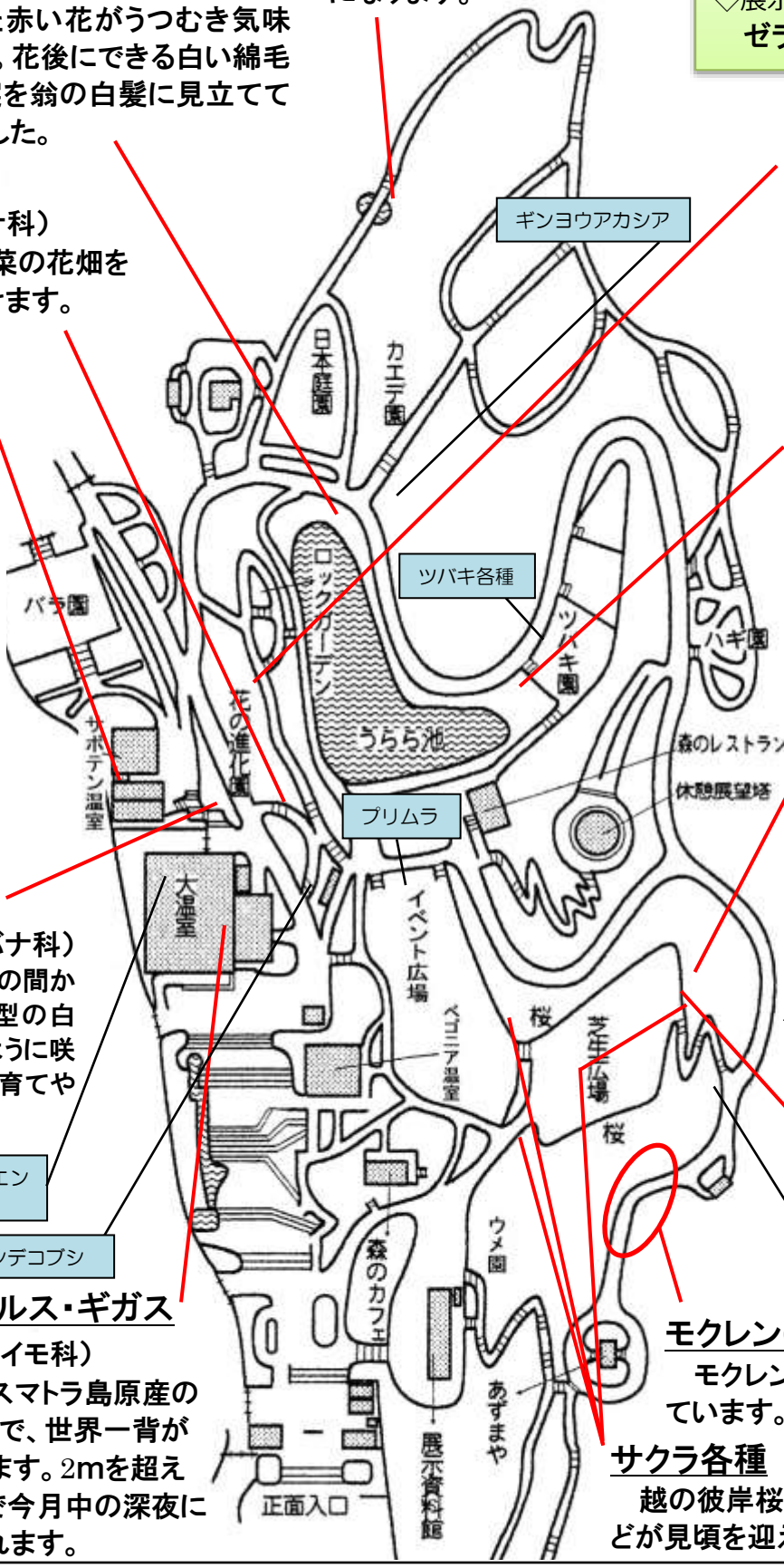
変わり葉ゼラニウム（フウロソウ科）
日本植物園協会のナショナルコレクションに認定された変わり葉ゼラニウム品種群を展示しています。展示温室ではゼラニウム約250鉢を展示中です。

スノーフレーク（ヒガンバナ科）
スイセンに似た葉の間から伸びた茎にベル型の白い花がぶら下がるように咲いています。丈夫で育てやすい球根植物です。

エウロフィエラ・ロエンプレリアナ

シデコブシ

アモルフォファルス・ギガスのつぼみ（サトイモ科）
インドネシアのスマトラ島原産のコンニャクの仲間で、世界一背が高い花を咲かせます。2mを超えてもまだ成長中で今月中の深夜に開花すると思われます。



パンダカンアオイ（ウマノスズクサ科）
中心が白、縁どりが黒の花を咲かせる中国原産のカンアオイです。花にはキノコのような独特のにおいがあります。

コブシ（モクレン科）
10mほどもある高木で、白い花が樹幹を覆うように咲いています。コブシの開花は暦のない時代から農作業の時期の目安として用いられてきました。

ゲンカイツツジ（ツツジ科）
ツツジの中でも特に早咲きの種類で早春に開花します。葉が展開する前に桃紫色の花を咲かせるためよく目立ちます。並んで白花も咲いています。

ボケ（バラ科）
鮮烈な赤花のほか、絞り咲きの品種が開花しています。

モクレンのなかま（モクレン科）
モクレンの園芸品種が次々に開花しています。

サクラ各種（バラ科）
越の彼岸桜、乙女東彼岸、マメザクラなどが見頃を迎えています。

✿ 毎週土・日曜日・祝日　午後1時半～3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します✿
✿ 毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時～は、職員による植物うんちく語りを実施します ✿